

平成29年度

島根大学大学院総合理工学研究科

社会人キャリアアップノンディグリープログラム  
(社会人の学び直しプログラム)

受講生募集要項

島 根 大 学  
大学院総合理工学研究科  
(博士前期課程・後期課程)

## 制度概要

平成 19 年の学校教育法の改正により、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校(以下「大学等」という。)における「履修証明制度」が創設され、12 月 26 日より施行されました。

大学等においては、これまでも科目等履修生制度や公開講座等を活用して、その教育研究成果を社会へ提供する取組が行われてきたところですが、より積極的な社会貢献を促進するため、学生を対象とする学位プログラムの他に、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書(Certificate)を交付できることとしました(法第 105 条等)。

制度の詳細は学校教育法施行規則(第 164 条等)や施行通知など、関係資料をご覧ください。

文部科学省としては、各大学等においてこの制度を活用し、社会人等の多様なニーズに応じた様々な分野の学習機会が積極的に提供されることを期待しています。

また、履修証明プログラムを各種資格の取得と結び付けるなど、目的・内容に応じて職能団体や地方公共団体、企業等と連携した取組も期待しており、この履修証明制度は、教育機関等における学習成果を職業キャリア形成に活かす観点から、現在政府全体で検討・推進している「ジョブ・カード制度」においても、「職業能力証明書(ジョブ・カード・コア)(※首相官邸ウェブサイトへリンク)」として位置付けられています。

## プログラムの趣旨・目的

近年の理工系分野における知識・技術の進展はめざましく、社会の発展は先端科学技術に牽引されています。地域産業や地域社会で活躍する社会人にとって、先端的科学技術の知識修得は以前にも増して重要となってきています。このため本研究科は、社会人を対象として、最新の知識・技術や最先端のトピックスなど、先端的な科学技術内容を修得していただき、社会人キャリアステップアップの基礎としていただくため、比較的容易に参加していただける社会人の学び直しプログラムを開設いたします。本プログラムは、経費負担の少ない短期のノンディグリーコース（学位取得を目的としないコース）です。新たな知識・技術の修得または理解のむずかしい理論・技術の学び直しに意欲のある社会人を募集します。

## プログラムの内容

本研究科の学術分野は、理学系と工学系が総合・融合・一体化した7つの領域（物理・材料科学、物質化学、地球資源環境学、数理科学、情報システム学、機械・電気電子工学、建築・生産設計工学）からなっています。

### 博士前期課程

本プログラムは、これらの7つの領域を基礎とした次の2つのコースを開設します。

- ① 「先端総合理工学基礎コース」先端的総合理工学の基礎を修得する。1つの分野を基礎として関連する基礎的知識と応用的知識を修得したい社会人を対象とする。
- ② 「先端総合理工学発展・課題探究コース」特定の専門領域を選択し、先端的な知識・技術を深く修得する。特別研究等の一部またはPBL (Problem/Project-Based Learning : 実践教育プロジェクト) 授業等に参加して、研究現場・企業現場等の課題探求・問題解決方法を学ぶ。研究課題と密接に関わり、研究能力・課題解決能力の向上を図りたい社会人を対象とする。

### 博士後期課程

本プログラムは、これらの7つの領域を基礎とした次の1つのコースを開設します。

「先端総合理工学高度発展・課題探究コース」特定の専門領域を選択し、先端的な知識・技術をさらに深く修得する。専攻共通高度実践教育科目、高度専門科目、論文研究、特別セミナーの授業等に参加して、課題探求・問題解決方法を学ぶ。研究課題と密接に関わり、研究能力・課題解決能力の向上をさらに図りたい社会人を対象とする。

本プログラム修了者には履修証明書を授与します。

コースの選択および受講科目の選定にあたっては、応募に際して提出された志望理由書およびインタビュー（メールおよび面接等による）をもとに、履修生の要望にマッチした指導教員を島根大学大学院総合理工学研究科所属の教員から選任し、履修生の希望を考慮しながらコース内のメニューの選定を指導します（希望する指導教員がいる場合にはその旨を志望理由書にお書きください）。受講可能な曜日・時間帯が限られている方については、インタビューの中で受講可能な科目の相談をさせていただきます。

プログラムの基礎となる7つの理工系領域の特徴は以下のとおりです。

#### ○ 物理・材料科学

物理学およびその学際領域の基礎知識を基に、新材料の開発、物質のミクロ構造解析、物質機能のメカニズムの解明、粒子多体系としての物質の理論的解明、物質の根源である素粒子の研究などの教育・研究を行っています。

#### ○ 物質化学

化学系の理学及び工学分野から構成されており，人類に有用な物質の創製，高効率で環境負荷の少ない物質・エネルギー変換技術の開発，物質の機能の合理的理解，原子・分子レベルでの物質のしくみの解明などの教育・研究を行っています。

#### ○ 地球資源環境学

地質学を基礎としつつ工学的分野を含めた学際的見地から，地球物質系の統一的理解と地球資源の可能性の追求，人類・生物・地球の密接な相互作用の実態の解明による地球史観および地球環境科学の体系付け，および地域の防災工学に関する教育・研究を行っています。

#### ○ 数理科学

数理構造に関する代数学・幾何学・位相数学などの構造論的抽象数学，および数理解析に関する関数方程式論・関数解析学・複素解析学・凸解析学・統計科学などの教育・研究を行っています。

#### ○ 情報システム学

コンピュータサイエンスと数理工学の有機的関連性や共通性を基盤として，ハードウェア・ソフトウェアとこれを支える種々の体系的方法を教育・研究しています。

#### ○ 機械・電気電子工学

制御システム工学，計測システム工学，電気電子システム工学，電子デバイス工学の4分野からなり，自動化制御技術・機械の振動解析・機械材料の強度解析・メカトロニクス技術，エネルギー・機械振動・ヒューマンインタフェース・自然環境などの計測技術，電気エネルギー制御技術・情報信号処理技術・通信技術，半導体結晶の電氣的光学的性質や構造の解明と電子デバイスへの応用・半導体集積デバイスの高性能化などの教育・研究を行っています。

#### ○ 建築・生産設計工学

都市計画，建築計画，建築構造などに関する諸課題及び製造業における生産技術に関する諸課題や木材・セラミックス・金属・コンクリートなどの各種材料を対象にして，その変換技術・物性解明，それらを用いた各種産業分野での諸課題に関する教育・研究を実施しています。

### 1. 募集人員

博士前期課程 若干名  
博士後期課程 若干名

### 2. 履修資格

新たな知識・技術の修得または自学では理解のむずかしい理論・技術の学び直しに意欲をもち，地域産業や地域社会で活動する社会人で，本プログラムに興味を持ってスキルアップを目指す人

(下記履修資格表のとおり 別紙1：博士前期課程，別紙2：博士後期課程)。

ただし，希望する教育内容によっては，指導体制の関係から受け入れられない場合があります。

### 3. 履修内容

#### 博士前期課程

- ①「先端総合理工学基礎コース」(5科目+講演等：実時間120時間以上)  
高度基礎科目の6科目から1科目(22.5時間)，関連基礎科目・専門科目から3～4科目(90時間)を選択し，さらに，指定された講演会・セミナー等(8時間)に出席する。
- ②「先端総合理工学発展・課題探究コース」(2科目+講演等：実時間120時間以上)  
研究的課題を探究する専門科目1の2科目から1科目(22.5～90時間)，講義・実習・演習等を主とする専門科目2から1～2科目(22.5～67.5時間)を選択し，さらに必要があれば，指定された講演会・セミナー等(計8時間)に出席する。

#### 博士後期課程

「先端総合理工学高度発展・課題探究コース」(2科目+講演等：実時間120時間以上)  
研究的課題を探究する専攻共通高度実践教育科目，高度専門科目，論文研究，特別セミナーから2科目(45～120時間)を選択し，さらに必要があれば，指定された講演会・セミナー等(計8時間)に出席する。

履修時間は合計で120時間を超えるように履修指導が行われる。この時間数は，文部科学省が規定する「履修証明プログラム」のうち教育再生実行会議(平成25年5月「これからの大学教育等の在り方について」)が示した「総時間数120時間以上」を満たすものである。

### 4. 履修期間

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで(1年間)

### 5. 受講料 48,000円

合格者には，後日，受講料納付手続きに関する文書をお送りします。

### 6. 申請手続

#### (1) 申請方法

志願者は，(3)の申請書類等を取りそろえて(4)に提出してください。郵送する場合は，「簡易書留」郵便とし，封筒に「総合理工学研究科社会人キャリアアップノンディグリープログラム申請書類在中」と朱書きしてください。

#### (2) 申請期間

平成29年2月13日(月)から2月24日(金)までの土曜日・日曜日を除く毎日午前9時から午後5時まで(郵送の場合も2月24日(金)午後5時までに必着)。

#### (3) 申請書類等

提出書類等	摘要
① 志願書	本研究科所定の用紙を使用し作成したもの
② 履歴書	本研究科所定の用紙を使用し，写真1枚を貼付したもの
③ 志望理由書	本研究科所定の用紙を使用し，志望動機及び理由を記入してください。別紙の担当教員一覧を参考に，希望する指導教員があればお書きください。
④ 推薦書(任意)	企業等の推薦により，受講希望する場合には，任意様式で推薦書を提出してください。(個人で申請する場合は，必要ありません。)

⑤ 卒業証明書	最終出身校の卒業証明書または修了証明書
⑥ 返信用封筒	履修の許可、不許可の通知のため、申請者の郵便番号、住所、氏名を記入し、郵便切手82円分を貼った長形3号(12cm×23.5cm)のもの
⑦ その他	その他研究科が必要と認める書類

#### (4) 申請書類提出先

〒690-8504 松江市西川津町1060

島根大学教育・学生支援部学務課学部・大学院教育グループ総合理工学研究科等教育担当

#### 7. 選考方法

志願者の提出書類(志願書・推薦書, 履歴書, 志望理由書及び卒業証明書)およびインタビュー(メールおよび面接等による)をもとに, 専門性または実務経験から判断して選考します。

コースの選択および履修科目の選定にあたっては, 応募に際して提出された志望理由書をもとに, 履修生の要望にマッチした指導教員を島根大学大学院総合理工学研究科から選任し, 履修生の希望を考慮しながらコース内のメニューの選定を指導します。

ただし, 履修資格表博士前期課程(別紙1)の8又は9に該当する者又は履修資格表博士後期課程(別紙2)の6~8に該当する者については, 書類選考の前に個別の履修資格審査を行いますので, あらかじめご了承ください。

(個別の履修資格審査に関する問い合わせ期間:平成29年2月1日(水)~2月10日(金)までの土曜日・日曜日を除く毎日午前9時から午後5時まで)

#### 8. 選考結果の通知

本人に文書により通知します。(※3月17日に発送予定)

#### 9. 履修証明書の交付

本コースを修了した者には, 履修証明書を交付します。

(学校教育法第105条の規定に基づく証明書)

#### 10. 問合せ先

島根大学教育・学生支援部学務課学部・大学院教育グループ総合理工学研究科教育担当

TEL (0852) 32-6255 Fax (0852) 32-6059 ; E-mail sad-gakumu03@office.shimane-u.ac.jp

#### 個人情報の取扱い

提出された書類の氏名, 住所等の個人情報については, 履修者の選考, 申請者への連絡のほか, 教務修学事務関係, 教育・研究活動関係等の業務を行うためにのみ利用します。他の目的に利用し, 又は提供することはありません。

○履修資格表

博士前期課程（別紙 1）

履修できる者は、次の 1 から 9 のいずれかに該当する者としてします。

No.	要件
1	大学を卒業した者
2	学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 104 条第 4 項の規定により学士の学位を授与された者【大学評価・学位授与機構から学位を授与された者】
3	外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者
5	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6	専修学校の専門課程（修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
7	文部科学大臣が指定した者（昭和 28 年文部省告示第 5 号） 【文部科学大臣の指定による、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者とは次の者をいいます。旧大学令による大学、旧高等師範学校・学校専攻科、高等師範学校・女子高等師範学校、防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、職業訓練大学校、気象大学校などの卒業（修了）者】
8	学校教育法（昭和 22 年法律第 26 号）第 102 条第 2 項の規定により大学院に入学した者であって、本学において認定試験を行い、本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
9	本学の大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22 歳に達した者

注) 履修資格 8 又は 9 により志願をしようとする者については、平成 29 年 2 月 1 日（水）～2 月 10 日（金）までの土曜日・日曜日を除く毎日午前 9 時から午後 5 時までに、下記に問い合わせてください。

島根大学教育・学生支援部学務課学部・大学院教育グループ総合理工学研究科教育担当  
Tel (0852) 32-6255 Fax (0852) 32-6059 ; E-mail sad-gakumu03@office.shimane-u.ac.jp

## 博士後期課程（別紙２）

履修できる者は、次の１から８のいずれかに該当する者としてします。

No.	要件
1	修士の学位を有する者
2	外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
3	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
4	我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
5	国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規程する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6	外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
7	文部科学大臣が指定した者 【大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 外国において学校教育において16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者】
8	本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

注) 履修資格6～8により志願をしようとする者については、平成29年2月1日（水）～2月10日（金）までの土曜日・日曜日を除く毎日午前9時から午後5時までに、下記に問い合わせてください。

島根大学教育・学生支援部学務課学部・大学院教育グループ総合理工学研究科教育担当  
TEL (0852) 32-6255 Fax (0852) 32-6059 ; E-mail sad-gakumu03@office.shimane-u.ac.jp

(別紙3)

○担当教員一覧

(平成28年11月1日現在)

物理・材料科学領域			
1	教授	大庭 卓也	金属結晶
2	教授	水野 薫	結晶評価, X線結晶学
3	教授	廣光 一郎	応用物性・結晶工学
4	教授	藤原 賢二	超伝導, 高圧物性, 核磁気共鳴
5	教授	田中 宏志	物性理論, 計算物理学
6	教授	山田 容士	セラミックス, 電気伝導性材料科学, 結晶成長
7	教授	波場 直之	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
8	教授	三好 清貴	磁性・低温物性・高圧物性
9	准教授	望月 真祐	素粒子・原子核・宇宙線・宇宙物理
10	准教授	荒河 一渡	ナノ材料工学, 金属物性・材料, 原子力学
11	准教授	笹井 亮	材料物理化学, 光機能科学, 資源・環境科学, リサイクル技術
12	准教授	武藤 哲也	物性理論
13	准教授	森戸 茂一	構造・機能材料
14	准教授	北川 裕之	材料物性, 熱電変換材料
15	准教授	本山 岳	超伝導, 低温物理, 金属磁性
16	准教授	宮本 光貴	核融合学, 金属物性
17	講師	大槻 道夫	非平衡物理学
18	助教	船木 修平	応用物性・結晶工学
19	助教	水野 斎	光物性, 有機光機能材料
20	助教	藤村 卓也	光物理化学, コロイド・界面科学
物質化学領域			
1	教授	小俣 光司	機能物質化学, 触媒・資源化学プロセス
2	教授	半田 真	錯体化学, 無機化学
3	教授	西垣内 寛	有機化学
4	教授	山口 勲	高分子化学
5	教授	田中 秀和	コロイド・界面化学, 粉体工学, 無機材料
6	教授	宮崎 英敏	無機工業材料
7	准教授	辻 剛志	物理化学
8	准教授	久保田 岳志	触媒・資源化学プロセス
9	准教授	池上 崇久	錯体化学, 生物無機化学
10	准教授	中田 健也	有機化学, 合成化学, 化学系薬学
11	准教授	飯田 拓基	高分子化学, 有機化学
12	准教授	新 大軌	無機材料工学, 応用界面科学
13	講師	鈴木 優章	有機合成化学, 構造有機化学
14	助教	白鳥 英雄	物理化学
15	助教	片岡 祐介	錯体化学・量子化学計算
16	助教	菅原 庄吾	環境分析化学, 環境化学
地球資源環境学領域			
1	教授	高須 晃	変成岩岩石学, 地質学
2	教授	石賀 裕明	環境地質学, 古生物学
3	教授	三瓶 良和	石油地質学, 有機地球化学
4	教授	入月 俊明	古生物学
5	教授	汪 発武	自然災害科学, 防災工学
6	教授	亀井 淳志	火成岩岩石学
7	教授	酒井 哲弥	地層学・堆積学
8	准教授	大平 寛人	地質年代学, 地質学

9	准教授	増本 清	地球・資源システム工学, 地下水学
10	准教授	林 広樹	古生物学
11	助教	志比 利秀	地盤工学, 連続体力学
12	助教	向吉 秀樹	構造地質学, 付加体地質学, プレート沈み込み帯の断層科学
13	助教	小暮 哲也	地理学, 自然災害科学
数理科学領域			
1	教授	杉江 実郎	関数方程式論
2	教授	中西 敏浩	複素解析学
3	教授	植田 玲	代数学(環論)
4	教授	黒岩 大史	凸解析学, 最適化理論
5	教授	和田 健志	関数方程式論
6	教授	内藤 貫太	数理統計学
7	准教授	青木 美穂	代数学(整数論)
8	准教授	齋藤 保久	関数方程式論
9	准教授	山田 拓身	微分幾何学
10	准教授	松橋 英市	位相幾何学
11	講師	渡邊 忠之	微分位相幾何学
12	講師	ヨハネス イエーリッシュ	エルゴード理論, 力学系, フラクタル幾何, 幾何学群論
13	講師	中田 行彦	数理生物学, 遅延微分方程式論
14	講師	岩本 真裕子	数理生物学, 数理モデル力学系
15	講師	前田 瞬	微分幾何学
16	助教	鈴木 聡	凸解析学, 最適化理論
情報システム学領域			
1	教授	加藤 裕一	知能情報学, 統計科学
2	教授	會澤 邦夫	情報学基礎
3	教授	平川 正人	メディア情報学・データベース
4	教授	濱口 清治	計算機システム
5	教授	神谷 年洋	ソフトウェア工学, プログラム解析・理解, プログラムメトリクス
6	准教授	鈴木 貢	ソフトウェア, 計算機システム, 情報教育
7	准教授	岩見 宗弘	情報学基礎
8	准教授	廣富 哲也	メディア情報学・データベース, リハビリテーション科学・福祉工学
9	准教授	神崎 映光	データ工学, ネットワーク
10	講師	六井 淳	知能情報学
11	助教	山田 泰寛	メディア情報学・データベース
12	助教	伯田 恵輔	暗号理論, 計算整数論
13	助教	森住 大樹	情報学基礎
機械・電気電子工学領域			
1	教授	神宮寺 要	機能材料・デバイス
2	教授	矢野 澄男	知覚情報処理・知能ロボティクス, 電子デバイス・電子機器
3	教授	梶川 靖友	電子・電気材料工学
4	教授	芦田 文博	機械材料・材料力学
5	教授	吉田 和信	制御工学
6	教授	縄手 雅彦	リハビリテーション科学・福祉工学
7	教授	増田 浩次	通信・ネットワーク工学, 応用光学・量子光学
8	教授	藤田 恭久	ナノ材料・ナノバイオサイエンス, 電子デバイス, 応用物性
9	教授	伊藤 文彦	計測工学, 応用光学・光量子光学
10	教授	影島 博之	ナノ構造物理, ナノ材料工学, 半導体物性理論
11	教授	横田 正幸	光応用計測
12	准教授	周 海	計測工学
13	准教授	李 樹庭	機械設計・機械要素設計
14	准教授	濱口 雅史	制御工学

15	准教授	下舞 豊志	計測工学
16	准教授	葉 文昌	電子デバイス・電子機器
17	准教授	山本 真義	電力工学・電気機器工学
18	准教授	新城 淳史	熱流体工学
19	准教授	森本 卓也	材料力学
20	講師	田村 晋司	機械力学・制御
21	講師	中村 和歌子	信号処理, 統計科学
22	助教	吉田 俊幸	電子デバイス・電子機器, 電子・電気材料工学
23	助教	伊藤 史人	福祉情報工学・医用画像処理
24	助教	都築 卓有規	制御工学
25	助教	北村 心	応用光学・量子光工学
建築・生産設計工学領域			
1	教授	臼杵 年	生産工学・加工学, 材料工学
2	教授	吉原 浩	林産科学・木質工学
3	教授	中野 茂夫	都市計画・建築計画
4	准教授	吉延 匡弘	林産科学・木質工学, 環境技術・環境材料, 科学教育, 高分子・繊維材料
5	准教授	加藤 定信	林産科学・木質工学, 分子生物学
6	准教授	中井 毅尚	林産科学・木質工学
7	講師	小林 久高	都市計画・建築計画, 建築構造・材料
8	講師	岡本 滋史	建築構造・材料
9	助教	安高 尚毅	建築史・意匠
10	助教	下倉 良太	建築設備, 住環境, 音響学
11	特任教授	田中 直人	都市計画・建築計画・環境デザイン・ユニバーサルデザイン
12	特任准教授	黄 箭波	木質建築材料工学 (製造・評価・使用)

様式1 (志願書)

平成29年度 島根大学大学院総合理工学研究科  
社会人キャリアアップノンディグリープログラム

\*大学記入欄

## 志 願 書

平成 年 月 日			
フリガナ 氏 名	印	男 ・ 女	
生年月日	年 月 日 生 ( 歳)		
課 程	<input type="checkbox"/> 博士前期課程 <input type="checkbox"/> 博士後期課程		
希望コース等	博士前期課程 <input type="checkbox"/> 先端総合理工学基礎コース (希望領域名: ) <input type="checkbox"/> 先端総合理工学発展・課題探求コース (希望領域名: ) 博士後期課程 <input type="checkbox"/> 先端総合理工学高度発展・課題探求コース (希望領域名: )		
連 絡 先	自 宅 住 所	〒	
	自 宅 電 話		携 帯
	E-mail		
	勤務先 (企業名)		
	勤務先 住 所	〒	
	勤務先 電 話		

様式2 (履歴書)

平成29年度 島根大学大学院総合理工学研究科

社会人キャリアアップノンディグリープログラム

## 履 歴 書

\*大学記入欄

氏 名		印	写 真
学 歴(最終学歴を記入してください)			
年 月			
職 歴			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
資 格 ( 取 得 年 月 )			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			
年 月			

※欄が不足する場合は、別紙 (A4用紙) に記載してください。

様式3 (志望理由書)

平成29年度 島根大学大学院総合理工学研究科  
社会人キャリアアップノンディグリープログラム

\*大学記入欄

## 志 望 理 由 書

氏 名	
-----	--

志望動機・理由 (記入にあたっては申請要領の「1. 記入要領」(3)を参照してください。)

--

# 【 申 請 要 領 】

## 【 1. 記入要領】

申請書類は、以下の各項をご参照の上作成してください。

### (1) 志願書（様式1）

#### ①志願書

- ・様式1に記載されている全ての欄に記入の上、氏名欄に捺印をしてください。
- ・希望する課程・コースを選び、希望領域名を一つ記入してください。ただし、指導体制の関係で受入れができない場合があります。
- ・連絡先については、最も連絡がつきやすい連絡先（または、自宅と勤務先の両方）を記入してください。なお、現職でない場合には、自宅のみの記入で構いません。また、自宅電話・携帯欄は、固定電話・携帯電話の両方を所有している者は、両方の番号を、固定電話・携帯電話のどちらかを所有している者は、所有している電話の番号を記入してください。

### (2) 履歴書（様式2）

- ・様式2に記載されている全ての欄に記入の上、氏名欄に捺印してください。
- ・写真欄には、上半身・無帽・正面向き・背景無地のもので志願前6ヶ月以内に撮影した写真（縦4cm×横3cm）を貼付してください。

### (3) 志望理由書（様式3）

- ・本プログラムの希望コースを申請するにあたり、志願者本人の志望動機・理由を記載してください。
- ・現在の志願者本人の仕事・活動内容等を踏まえ、新たに学びたいこと、もしくはさらに知識を深めたいこと、さらにそれらを活かした将来のビジネス(活動)プランがあればそれぞれをまとめて記載してください。
- ・記載内容は、履修者選考及び修了時評価の際の資料とするほか、本プログラムの方針や授業内容を検討するための貴重な資料として参考にさせていただきますのでご了承願います。

### (4) 推薦書（所属先からの推薦がある場合に提出：様式任意）

- ・推薦者は、志願者が所属する企業・団体で、志願者の雇用主もしくは上司に相当する者とします。
- ・様式は任意ですが、推薦者氏名・所属・役職・連絡先、推薦理由を記入してください。
- ・推薦者氏名を記入し捺印してください。
- ・推薦者は、推薦理由について記入してください。
- ・推薦理由には、推薦者が本プログラムに期待する教育内容や成果、それらを志願者及び推薦者が所属する企業・団体等にどう反映させ、発展させていくか、といった内容を併せて記載してください。

## 【 2. 申請書類の提出】

(1) 提出期限：**平成29年2月24日（金） 午後5時 必着**

(2) 提出方法：島根大学教育・学生支援部学務課学部・大学院教育グループ総合理工学研究科等  
教育担当あてに提出してください。

○申請書類は封筒に入れ、総合理工学研究科社会人キャリアアップノンディグリープログラム申請書類在中と朱書し、持参又は郵送（上記日時に必着のこと）してください。

(3) 申請書類の請求・提出・問い合わせ先：

〒690-8504 松江市西川津町1060

島根大学教育・学生支援部学務課学部・大学院教育グループ総合理工学研究科教育担当

TEL：(0852) 32-6255 Fax：(0852) 32-6059

(4) 選考結果：申請者に個別にお知らせします。